



JPS NEWS

* 10月のハイライト *

広報チームより

秋を通り越して、冬のような寒さが続いておりますが、スポンサーの皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

10月初めには、静岡県のイエティスキー場がオープンし、国内スキー場の準備も着々と進んでおります。こうした雪の便りにより、スキー場へ足を運ばれる方が増えて、スノースポーツへの関心が高まればとても嬉しいところです。当連盟の各チームも、ワールドカップ開幕前の最終調整に入り、国内・海外でのトレーニングに日々励んでおります。この時期は、各国の有力選手が一堂に集まり、トレーニングをする機会が増えるので、選手によってはナーバスになる傾向があります。淡々と、ブレずにシーズンインできることを祈るばかりです…

スポンサーサポート

ご不明な点やご質問等ございましたら
お気軽にお問い合わせ下さい。

広報担当理事：森 ユキ
mori@jps-ski.com

事務局広報担当：菅（すが）
suga@jps-ski.com

03-6229-5429

平昌大会オフィシャルウェア記者会見

平昌2018オリンピック・パラリンピック冬季競技大会
日本選手団オフィシャルスポーツウェア発表会が
11月1日（水）表参道ヒルズにて行われます。
当日は、当連盟パラノルディックチームより、
新田佳浩（にったよしひろ）選手
阿部友里香（あべゆりか）選手
2名が登壇する予定です。夕方以降のニュース等で
会見の様態をご覧いただけるかと存じます。

平成29年度 総会開催

10月15日（日）今年度の総会が開催されました。
28年度事業報告及び決算の審議並びに29年度事業計画
及び予算案が報告され、来る平昌へ向けて皆様の絶大なる
ご支援を賜り準備が整いました。
連盟として、平昌パラリンピックでのメダル獲得は
もちろんのこと、次世代選手のさらなる強化と育成、
さらには、スノースポーツの普及・発展を積極的に行い、
会員増加を目指してまいります。

10月の予定

AS-PH

10月14日～11月11日 オーストリア
11月26日～12月24日 オーストリア・スイス

NS-PH

11月12日～11月26日 フィンランド
11月17日～11月26日 北海道大滝

次世代チーム

11月3日～11月5日 新潟県妙高

SB-PH

11月7日～12月3日 フィンランド・オランダ

パラクロスカントリースキーチーム

夏季陸上トレーニングも大詰めを迎え、今回の強化合宿ではローラースキーをメインにレーススピードを意識させ、スピード強化及び脚力を鍛えるため登山並びに摩擦抵抗のある砂浜を利用したサンドスキーにおいて、体力強化を図ることを目的にトレーニングを行いました。選手は、日本のエース新田佳浩選手と若手で、今季力をつけてきている岩本啓吾選手です。体調も万全でシーズンに向け意気込みを見せています。平昌を控えたシーズンであること及び最後の陸上トレーニングであることもしっかり認識させ、これまでのオフトレーニングでやり残していることはないかをしっかり確認し、強化を進めています。日々のトレーニングに全力で取り組み、良いシーズンのスタートが切れるよう引き続き頑張ります。（長濱一年CCヘッドコーチ）



←岩本選手からのコメント

今シーズンは平昌パラリンピックの本番です。

まず平昌パラリンピック出場を目標としています。

出場したときは、クラシカルのスプリント、ミドルの2種目で10番台に入ることを目標にしています。

青森合宿はシーズンに近いということで、

ダブルポールのスピードを中心とした練習をしています。（岩本）

岩本選手は脳性麻痺の選手で、世界でも数名しかいません。

スケートやクラシカル走法が出来ること自体、画期的です。

多くの脳性麻痺の子供たちにもスキーをできる楽しさを知ってもらいたいです。

パラバイアスロンチーム

陸上合宿最後となる今回の狙いは、ランニング・ローラースキーにおいてスピード等の強化を図り、体のキレを作るバイアスロンのタイムトライアルを実施して現在の仕上がり具合を確認した。

佐藤圭一選手はトライアスロンでの怪我の回復も順調である程度の負荷を上げることができた。タイムトライアルも走力はかなり上げることができているので、怪我が完全に回復すればまだ上げることができる状況である。射撃もリズム良く、外れもわずかなところでの射撃ができていたので現時点では良い状態に向かっており、後は怪我の完治を待つばかりである。

高村選手は、先月の網走合宿で左足土踏まずに張りを覚える故障があり、症状を見ながら無理をさせず軽いランニング等で様子を見ながら上半身を中心に強化した。

阿部選手は比較的動けていたが、合宿及び自主トレ等で少し疲れが出て来ている様にした。タイムトライアルでは今の力を一番出せていた。射撃も動作的には問題なく仕上がっている。

出来島選手は、仕事の関係でなかなか時間を作れず自主トレが思う様にできていない割には自主的に動きタイムトライアルもラップで落とすことなく最後まで走りきっていた。

射撃も動作的には問題なく仕上がっている。

今後、選手は体調を崩すことなく自主トレに励み次の強化合宿に繋げてもらいたい。

(瀧澤明博BTヘッドコーチ)



パラアルペンスキーチーム

パラアルペンチームは、オーストリアのシュューバートルでトレーニングしています。例年よりも雪が少ないですが、雪質は良く、よいトレーニングができています。技術系のトレーニングを行った後、来週以降は違うスキー場に移動し、高速系のトレーニングにうつります。この時期は、各国から多くのスキーレーサーが集まり、赤と青のポール（旗）が乱立したトレーニングコースは、まるで迷路のようになっています。



現在、メディアに引っ張りだこな村岡選手は、某社のCM撮影が現地入り。トレーニング風景の撮影が無事に行われました。



今の時期、雪上トレーニングは標高の高いところで行われます。（2000m～3000m）宿泊先のホテル周辺は、秋の陽気です。午後はスキー場から戻り陸上トレーニングを行います。山と緑に囲まれた自然相手のトレーニングは日本で補うことのできない部分のカバーできます。

